

# 2学期 「話す・聞く」単元

つきたい力×子どもの実態

## 言語活動の実践

児童の実態が変われば、

言語活動における児童の様子も変わる！

ブロック学年や今後の実践等にご活用ください。

## 2学期

### 「“つきたい力”と“子どもの実態”にぴったり」な言語活動の実践について

つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 1 年 】

#### 1. 単元名

なつやすみのことをはなそう

#### 2. 本単元でつきたい力

- ・自分の話したいことを選んで、話の順序を考えながら相手に伝わるように話す力
- ・話の大事なことを落とさないように興味をもって聞く力

#### 3. 本単元で行う言語活動

なつやすみの おもいで はっぴょうかい

#### 4. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- ・夏休みの思い出は、話したいことがいっぱいあったようで、どの子も意欲的に取り組んでいた。
- ・話しやすいように、何を話すのか考え、話すことを文で書かせた。発表会本番では、覚えて、紙を見ないで聞く人の方を見て話すことをがんばった。(一人、難しい児童がいたので、その児童は紙を見て発表した。)しかし、「話す」というよりは丸暗記したことを「言う」という感じでもあったので、文で書かせるのではなく、メモ程度にし、話す練習をしてもよかったかもしれない。
- ・グループでの発表→日を分けて全体で発表という流れだったが、グループで発表することで自信がついたのか、堂々と話し、全体での発表の方が張り切っている児童が多かった。聞いてもらいたい気持ちが強いと感じた。
- ・できごと、詳しい内容、感想の3本立てで話す内容を考えたが、詳しい内容が1文程度だったので、話の順序までは意識できていなかったように思う。朝のスピーチなどで、内容をもう少し詳しく話せるようにし、順序も考えられるように指導していきたい。
- ・グループでの発表のときには、聞き手は、話題に関係のある質問か感想を必ず言うようにすることで、いつもより聞こうとしている児童が多く、良かった。

## 2学期

### 「“つきたい力”と“子どもの実態”にぴったり」な言語活動の実践について

つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 1 年】

#### 5. 単元名

なつやすみの ことを はなそう

#### 6. 本単元でつきたい力

自分の話したいことを選んで、話の順序を考えながら話す力  
話の大事なことを落とさないように興味をもって聞く力

#### 7. 本単元で行う言語活動

とっておきの なつやすみのヒミツをおしえよう！

#### 8. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

##### 子どもの様子

言語単元を発表したときには、「とっておきなので、誰にも言いたくない」との意見がでたが、周りがやりたいと言ってくれたので、クラスの雰囲気はパッとかわって取り組むことが出来ていた。

##### 良かった点

のりのりで話すことを決めて、文章も考えていた。

発表の際、グループで発表をしたので、なかなか人前に出にくい児童も、頑張って発表をすることができた。

グループ発表の後に全体発表をしたい児童全員にしてもらったが、もグループ発表で自信を付けたのか、全体発表に参加する恥ずかしがりやの児童もいた。

##### 改善点

メモを見るだけで、話せない児童もいるため、今回は、話す内容を考えたが、もう少しチャレンジしてみてもよかった。

## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 2 年 】

#### 9. 単元名

大すきなもの、教えたい

#### 10. 本単元でつけたい力

- ・話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。
- ・相手に届く音量で話すことができる。

#### 11. 本単元で行う言語活動

大すきなものをおしえよう！

#### 12. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

○自分の好きなものを聞くとたくさんの意見が出てきた。

○なかなか出てこない児童もいたので何人かに発表させると、自分の好きなものを見つけ  
ていくことができた。

○好きなものについてくわしく話すために「中」の部分を3つくらい

△発表に対して質問の時間をとったが、質問する児童が限られていたので質問の仕方や種  
類など練習する必要があった。

△初めは楽しそう！と、取り組んでいたが途中から飽きてしまう子もいたのでもう少し楽  
しくできるようにしたらよかった。

## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 2 年 】

#### 13. 単元名

大すきなもの、教えたい！

#### 14. 本単元でつけたい力

- ・話す順序を考え、丁寧な言葉遣いで話すことができる。
- ・相手に届く音量で話すことができる。

#### 15. 本単元で行う言語活動

大すきなものを 教えよう！

#### 16. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- 好きなものについて書いたり話したりできるため、意欲的に取り組めた。
- 質問タイムがあると「聞こう」という意識が持ちやすかった。
- 話す時のポイント（声の大きさやスピードなど）、聞く時のポイント（姿勢、目線など）を自分たちで考えて発表前に確認すると、実践しようとする子が多かった。
- △好きなものについて詳しく話すために、好きなものの良いところや好きなわけを考えさせたが、好きなものを羅列するだけで、くわしく話すことが難しい児童もいた。
- △話すときに気をつけたことや、友だちのよかったところなどを振り返って、共有する時間を持てればよかった。

## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったりな言語活動」について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 3 年】

#### 17. 単元名

つたえよう、楽しい学校生活

#### 18. 本単元でつけたい力

相手に伝わるように、理由や事例などをあげながら、話の中心が明確になるよう話しの構成を考える力

#### 19. 本単元で行う言語活動

「グループでワクワクできる招提小学校をつくって発表しよう」という言語活動を考えた。進行を考えながら話し合おうという単元だが、1学期に「聞く」に焦点しぼり、「話す・聞く」の言語活動を行ったので、本単元では「話す」に焦点をしぼることにした。各自が考えた今の招提小学校に+α何があれば、もっとみんなが楽しいと思える招提小学校になるか考え、グループで自分の考えを発表し、そこから班として意見をまとめ発表するという言語活動を行った。自分の考えをよいアイデアと班の子に思ってもらうためには理由や事例が必要となるので、つけさせたい力がつくのではないかと考えた。

#### 20. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

本単元に入る前から振り返りや発表で自分の考えを言うときに、理由や事例を使って話すことができる児童はいたが、友だちの意見を聞いて、その意見に対して自分の考えを話すことができなかった。活動に入るまでに「話す」時にはどのような言葉を使えばよいのかみんなでコツをつかんで、出てきたことばを掲示したので、理由や意見を積極的に使う児童が多く見られたのは良かった。発表の際にも、理由を今までよりも詳しく具体的な内容で発表していた。また、質問（聞く）のときに、聞き方を1学期に学んだことを生かしながらの質問が多く見られた。

改善点としては、班で話しながら発表内容を考えるときに、自分のアイデアに賛成してもらえなかったときに、そこで終わってしまい自分の考えが採用されなかったと思う児童がいたので、採用されなくてもそこで引き下がるのではなく、いくつか理由や事例を考え、そこから「話す」「聞く」繰り返しを行ってみんなが納得できるようにするところまで向かわせたいので、次の「話す・聞く」の授業や他教科のペア・グループでの活動につながるような投げかけを行う必要があると感じた。

## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 3 年】

#### 21. 単元名

伝えよう楽しい学校生活

#### 22. 本単元でつけたい力

相手に伝わるように、理由や事例などをあげながら、話の中心が明確になるよう話しの構成を考える力

#### 23. 本単元で行う言語活動

「グループでわくわくする招提小学校を作って発表しよう。」と題し、グループで話し合い活動・意見を聞く活動を取り入れた。「今は〇〇だから、△△があるともっとよくなるよね。」など理由も入れて聞き手が納得できる話方を学習した。グループごとにまとめた意見を全体の前で発表した。

#### 24. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- ・児童は、自分たちのことだけではなく、学校全体として〇〇があると勉強ができる、もっと楽しくなるなど積極的に考えることができた。
- ・話す時は理由（なぜそう考えたのか）が大切になってくることを伝え、相手が納得している話し方を考えていった。その結果、自分の考えを理由をつけて発表する児童が多かった。しかし、豊かな意見はたくさん出たが、反対意見が出たときに、その返しがうまくできない児童や、たくさんの意見を一つにまとめる力がまだついていないと感じた。

## 2学期

### 「“つきたい力”と“子どもの実態”にぴったり」な言語活動の実践について

つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 4年】

#### 25. 単元名

だれもが関わり合うために

#### 26. 本単元でつきたい力

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

#### 27. 本単元で行う言語活動

「令和」の新時代をともに生きていくために、だれもが関わり合うための、社会の工夫を調べて発表しよう。

#### 28. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

- 自分で調べたいことを選んでの活動だったので、意欲的に取り組んでいた。
  - 情報の分類について、児童が自分の基準で分けられれば良いことにしたので、評価がしやすかった。
  - 情報を整理すると発表がしやすいことや、必要な情報と必要でない情報があることに気づけた。
- △メモの取り方に課題がある児童が少なくなかったので、引き続き他教科でも行う。
- △資料の情報が入ってこない児童への支援がまだまだ不十分であった。(声に出して一緒に読むなどの支援を行った。)



## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったりな言語活動」について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 5 年】

#### 29. 単元名

明日をつくるわたしたち

#### 30. 本単元でつけたい力

互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

#### 31. 本単元で行う言語活動

もっとすてきなクラスにするために、残り半年でできることを考え、計画的に話し合い、提案書にまとめて実行しよう。

#### 32. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

##### 良かった点

“自分のクラスをもっと楽しく、かっこよく、すてきなクラスにする”ということ  
でやる気が上がり、児童から自然と、すすんで学習に取り組む姿が見られ、言語活動の  
設定が有効であったと感じた。

また、“みんなが話し合いに参加すること”を大切にしたので、児童から、「話し合い  
の苦手な児童が話し合いに参加するにはどうしたらいいか」や、「話し合いが詰まった  
時はどうすればいいか」など、話し合いに関わる具体的な課題をクラス全体で共有し、  
考えることができた。クラスで考えた“話し合いの進め方”はまとめて教室掲示し、  
今後も活用していきたい。

##### 改善点

提案書の中身が“具体的で実現可能なもの”というラインは、どの班もクリア  
できたが、提案の内容をもっと吟味し、より良い提案にする時間はなかった。  
単元前半の時間をもっとコンパクトにすれば、後半で提案を吟味できたと感じた。

## 2学期

### 「つきたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つきたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つきたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 5 年】

#### 33. 単元名

明日をつくるわたしたち

#### 34. 本単元でつきたい力

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

#### 35. 本単元で行う言語活動

もっと楽しく、平和なクラスにするために、残り半年でできることを考え、計画的に話し合い、提案書にまとめて実行しよう。

#### 36. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

ゴールを提示したときの児童の反応はよかった。やはり、「自分のクラスをよりよいものにするための取り組みを、自分たちで考える」というものは、高学年にとっては、やってみてみたいと思えるものであったように感じた。

第三次での一回目の話し合いの時には、中々上手く話し合いが進まなかった。具体的には、自分の意見を言っただけで満足をして、考えを深めるということができていなかった。

しかし、次の時間で、「話し合いとは、どういうことか？」と原点に立ち返った。すると、児童から「考えを深めること」「深めるにはもっと話さないといけない」「もっと話すためには、相手の意見に賛成やアドバイス等の反応をしてあげないといけない」といった答えが出た。児童たちで解決し、その後の話し合いでは、間延びしなかったので、上手くいったと思った。

二年目研の本時では、『「やってみてみたい」と思える提案にするためにはどうすべきか』をめぐって学習した。

## 2学期

### 「つけたい力」と「子どもの実態」にぴったりな言語活動の実践について

つけたい力をおさえているか 子どもにとって何を学ぶかが分かりやすいか

研究・研修部

8月20日の校内研修を受けて、2学期に行った「つけたい力と子どもの実態にぴったり」な言語活動について、実践の様子をお聞かせいただき、学校で共有したいと思います。

児童の様子、また、児童の様子から分かる良かった点・改善点などについて、記入してください。

(例) 児童の積極性や参加率、学習に困り感のある児童がどれくらい参加できているか など

【 6年】

#### 37. 単元名

未来がよりよくあるために

#### 38. 本単元でつけたい力

「互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、自分の考えを広げたり、まとめたりしながら、今の自分にできることを提案する（A話すこと・聞くこと オ）」という力をつけること

#### 39. 本単元で行う言語活動

- (ア) 「招提小に対する疑問や不思議などを下級生から聞き集め、下級生が今よりも前向きに学校生活を送れるような提案を考えて、下級生にスピーチをすること」と位置づける。
- (イ) 積極的に活動に取り組めるよう、内容を「学校生活への提案」とした。

#### 40. 児童の様子、児童の様子から分かる良かった点と改善点など

##### よかった点

- ・単元の見通しをもつことで、下級生へのインタビュー活動をスムーズに行うことができた。
- ・「話す」活動を積極的に行うことによって、自信を持てた子もいた。
- ・実際に提案したことをクラスでも活用している。

##### 改善点

- ・まだ、文章を読む感じが残っている。自分の中で「話す」ことを整理できていない子もいた。
- ・自信を持てなかった子へは、学習の意図、理解の定着を個別に配慮する必要がある。